

# 令和3年度 第2回 特別区長会調査研究機構理事会 日程

(日時) 令和3年9月10日(金) 役員会終了後  
(場所) 東京区政会館 19階 191会議室

- 1 調査研究報告会の実施結果について (機構事務局長)
  
- 2 令和4年度新規研究テーマについて (機構事務局長)
  
- 3 調査研究事業の進捗状況について (機構事務局長)
  
- 4 今後のスケジュールについて (機構事務局長)
  
- 5 その他

令和 3 年 9 月 10 日  
特別区長会調査研究機構  
令和 3 年度第 2 回理事会

## 特別区長会調査研究機構 調査研究報告会の開催結果の概要について

令和 2 年度に実施した調査研究に関する報告会を下記のとおり開催した。

開催にあたっては、今般の新型コロナウイルスの感染拡大リスクを考慮し、定員を絞ったほか、テーマごとに入場者を入れ替え、休憩時間に机上の消毒を行うなどの予防対策を講じた上で実施した。

7 月末から 8 月末までの期間、各報告の様子のダイジェスト動画を YouTube により配信した。

### 記

- 1 開催日 令和 3 年 7 月 7 日（水）及び 8 日（木）
- 2 会場 東京区政会館 20 階
- 3 報告テーマ数 11 テーマ
- 4 聴講者数 延べ 314 人（区職員 282 人、研究者等 32 人）
- 5 オンライン配信視聴回数 813 回

令和 3 年 9 月 10 日  
特別区長会調査研究機構  
令和 3 年度第 2 回理事会

## 令和 4 年度新規調査研究テーマについて

	区名	テーマ名・研究のねらい
1	中央	<p><b>タワーマンション等大規模集合住宅を含む地域コミュニティの醸成</b></p> <p>特別区における居住人口の増加に伴い、区民の生活様式や価値観の多様化はさらに促進され、地域コミュニティを取り巻く環境も大きく変化している。特に、タワーマンション等大規模集合住宅の建設が進む中、当該建物の内部・外部ともに地域コミュニティが醸成されにくい状況となっている。</p> <p>本研究では、各区へのヒアリングやフィールドワークなどを通じ、大規模集合住宅を含む地区における地域コミュニティのあり方や地域の連携について探求するとともに、地域コミュニティの持続的な発展に向けての取組や特別区の実情に適した良好な地域コミュニティづくりの手法等を考察する。</p>
2	港	<p><b>特別区の未来を見据えた子育て支援</b></p> <p>特別区では、これまで待機児童解消のため、重点的に保育所の新設等、量を増やす施策を進め、着実にその成果を上げつつあるが、近年、幼児教育・保育の無償化の動きや、テレワーク等による働き方改革の広がり等、保護者を取り巻く環境の変化により子育て支援に対する保護者ニーズが多様化しており、今後の子育て支援施策は「量」から「質」へ転換していく局面を迎えている。</p> <p>本研究では、就学前児童の保護者のニーズや求められるサービスを把握するとともに、専門的知見等を踏まえ、サービス供給体制の適正化の考察を行うことで、大都市地域特有の保育課題の解決に向けた方向性を探る。</p>

	区名	テーマ名・研究のねらい
3	江東	<b>水害時の避難及び共同住宅の機能強化</b>
		<p>近年各地で起こる台風や豪雨等の水害被害を踏まえると、特別区域内においても大規模な河川氾濫による水害も想定され、避難の考え方の再整理が肝要である。</p> <p>避難には水平避難と垂直避難があるが、それぞれ一定の条件下で成立するため一様ではない。また、避難行動を選択するにあたり有効な避難場所となりうる共同住宅について、止水対策等の機能強化も重要である。</p> <p>本研究では、水害時の区民の避難計画に影響を与える地理的特性や避難場所・手段等の条件を整理し考察することや、在宅避難が可能となる共同住宅の機能強化について調査・研究し、実効性のある施策の方向性を探る。</p>
4	世田谷	<b>循環型経済の推進による持続可能な経済発展に向けて、特別区が取り組むべき施策</b>
		<p>今後の地域経済の発展に向けては、大量生産・大量消費・大量廃棄のモデルから、持続可能な発展モデル（循環型経済）へと転換していく必要性が指摘されている。</p> <p>特別区においても、事業者を主体とする産業振興だけでなく、多様な働き方や環境にも配慮した地域経済の持続的な発展に向けた取組も求められている。</p> <p>本研究では、他自治体や民間企業の先進的な取組等を調査・研究し、地域に関わる様々な主体との連携可能性も考慮しつつ、地域経済の持続可能な発展のために特別区として目指す方向性について考察する。</p>

	区名	テーマ名・研究のねらい
5	板橋	<b>特別区におけるDXの推進 ～ビッグデータを活用したまちづくり～</b>
		<p>デジタル化の加速により、様々なデータの取得・分析が容易になり、ビッグデータの有用性が官民間問わず認知されその活用が進んでいる。</p> <p>特別区では、少子高齢化への進展や都市基盤施設の老朽化などへ対応するべく、地域特性を踏まえた都市再生・まちづくりを進めている。</p> <p>本研究では、これらの課題に対応するためのビッグデータの取得・分析・活用方法を明らかにすることで、地域特性・課題を洗い出し Society5.0 を見据えた特別区のまちづくりを推進させる可能性を探る。</p>
6	葛飾	<b>データ利活用の推進</b>
		<p>情報通信ネットワークや IOT 関連機器の技術革新、スマートフォンの普及などにより、多様かつ大量のデータが得られるようになる中、社会の様々な分野でこうしたデータの利活用が急速に進んでいる。</p> <p>一方で、自治体におけるビッグデータの活用については、その推進が期待されているものの、活用手法等は十分に蓄積されていない。</p> <p>本研究では、他自治体や民間における活用の事例や課題、手法等の情報を収集・分析し、特別区におけるデータ資源の有効活用の可能性について考察する。</p>